

## スマホ講座に参加した甲南高校 3 年生の感想文

(写真と氏名発表は本人の了解をいただいております)

### <岸本 蓮君>

私は合計で 3 回のスマホ講座に参加させて頂きました。正直スマホをなんとなく使っている人間なので仕組みがどうという詳しい認識はしていなかったです。しかし、一回目の参加で高齢者の方の「なんとなく使う、間違えてもやり直せるが私たちは怖い」という言葉を聞き、自分が教えているのは自分とは全く違う世代の人だと再認識しました。そこからは、伝え方や自分で知ろうとする能力が格段に上がっていたと感じます。私はスマホ講座に参加してこういった力を手に入れることができました。こういった取組みは全国に広がって欲しいと思います。



### <山田雄生君>

初めてスマホ講座に参加したのは、留学帰りの高 2 の夏でした。当時、高齢者の方々が使うスマホと自分が使うスマホが異なり、教えられるかどうか不安を感じながら講師役として参加していました。しかし、今ではその不安もすっかり払拭され、高齢者の方々との交流の場として捉えるようになりました。普段、同世代とのコミュニケーションが中心の私の学校生活において、年配の方々と初対面の場で会話できるスマホ講座は、私の学校生活に新しい色を加えてくれました。生徒が一方的に知識を与えるのではなく、逆に生徒も高齢者から学びを得る場であることに気づき、それは私の高校生活にとって貴重な経験となりました。



### <内田光馬君>

私は高校 1 年生の 9 月からスマホ講座に参加しました。そこでは、一対一で地域の方々に教える形式だったため、自分としても非常にやりやすく、充実した時間を過ごすことができました。ただ、初めはなかなか効率のよい教え方が見つからず苦労しましたが、回を重ねるうちに、人に教えるためには自分自身がある程度理解しておく必要があることに気づき、教えることを通じて自分自身も成長できました。この講座は月に 1 回の開催だったこともあり、毎回の参加を楽しみにしていました。また、以前もお話したように、自分と年が離れた方々と直接会話する機会は、身内以外ではほとんどなかったため、大変貴重な経験となりました。このように継続的にスマホ講座に参加したことで、ただ「やった」という経験だけでなく、自分自身の成長にも大きく繋がったと実感しています。



### <内山優真君>

私はスマホ講座を通じて、世代が離れた方とのコミュニケーション能力を身につけました。また、スマホに関して説明するために言語化する能力も成長させることが出来たと思います、さらに、生徒の方々との会話でとても貴重なお話を聞けたり、スマホ講座は私に様々なものをくれました。



### <長岡咲太郎君>

このボランティアを通して、普段あまり会話をしない世代の方々と一緒に活動することができ、自分自身の視野を広げるなどの成長ができたと思います。自分もスマホが苦手であるため、役に立てていたかどうかは分かりませんが精一杯取り組むことができました。



### <伏見優輝君>

数え切れないほど参加してきたスマホ講座。この活動の本質は「教えること」にあります。それを通じて得られるものもまた計り知れません。その一つに言語化の向上が挙げられます。自分が漠然と知っている事柄を、講座を通じて繰り返してアウトプットすることで、豊かで洗練された表現力を身につけることができました。

このスキルは、志望大学の総合型選抜入試で提出する資料（志望理由書など）において、自分のこれまでの取り組みや大学での目標を表現する際に、大いに役立ちました。さらに、この活動は大学入試の面接に練習としても非常に有益だったと感じています。スマホ講座は、予想だにしない視点から投げかけられる質問がしばしばあり、教える側としてはそれこそが醍醐味でもあります。難問に直面しながらも答えを導き出そうと努力しますし、もし知らないことがあれば、受講者と共に答えを探す過程を楽しみます。それだけではなく、日常の学校と家の往復では得られない、貴重で多様な経験をこの活動を通じてさせていただきました。この機会に心から感謝しています。



(以上)